

相模大野図書館

ヤングアダルト読書案内

2021. 4 月号
Vol. 21

YAD

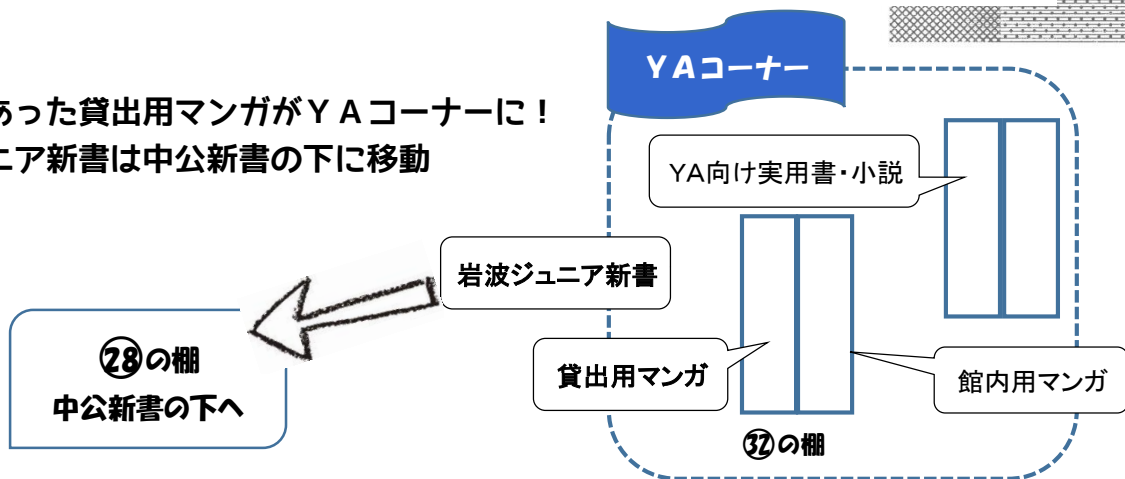


SDGs
特集

- ・ Y A コーナーにマンが集結！！
- ・ S D G s をはじめよう
- ・ Y A 新着本を紹介します！

YAコーナーにマンガ集結！！！！

- 入口側にあった貸出用マンガがYAコーナーに！
- 岩波ジュニア新書は中公新書の下に移動



YAコーナーは3階右奥だよ♪

マンガ特集

YAコーナーで館内用マンガに
新しいタイトルが加わったぞ！

一見クールな男子高校生坂本の
学園生活ギャグコメディ。
「クール」の三段活用に注目！



これこそ
「クール」！

[M]
『坂本ですが?』1～4巻 完結
佐野 菜見／著 KADOKAWA

細胞は忙しい！



[M] 『はたらく細胞』1～6巻 続刊
清水 茜／著 講談社

細胞を擬人化したギャグマンガです。
誰もが罹る風邪や、熱中症の起こる仕組み
が分かりやすいです。

細胞たちがこんなにがんばってくれて
いたなんて？！

高校生と幼児のハートウォーミングストーリー

いままでマイペースに暮らしていて子ど
もとの何の接点もなかった男子高校生が、従弟
をあずかったことで生活がゆるやかに変化し
てきて……平介と秋のやりとりに和みます。

[M]
『flat』1～8巻 完結
青桐 ナツ／著 マッグガーデン



♪上記以外にも4タイトルのマンガが入りました！ 「館内用マンガ」は相模大野図書館の中だけで読んでね♪

貸出用マンガを紹介！

後にアレキサンダー大王の書記官となるエウメネスの生涯を描いた歴史マンガ。

舞台は紀元前、古代ギリシア世界。教養があり機転が利くエウメネス。ところが、ある事件がきっかけで奴隷の身分におとされてしまう。



M

『ヒストリエ』1～11巻 続刊
岩明 均／著 講談社

君も作品に出てくる児童書を
読みたくなっちゃうかも!?



「タチアオイ児童図書館」には口が悪くぶっきらぼうな司書がいる。彼は悩みや問題を抱えた利用者に、その人に合った本を提供するんだ。

M

あるじ
『図書館の主』1～15巻 完結
篠原 ウミハル／著 芳文社

マンガの神様
手塚治虫の作品!

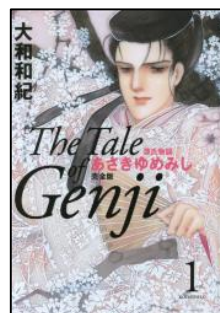


©手塚プロダクション

人間らしい感情を持つロボット「鉄腕アトム」。聴力は人の一千倍！足のジェットエンジンで空を飛ぶ。真面目で正義感の強いアトムが未来を舞台に活躍するよ。

M

『鉄腕アトム』1～18巻 別巻1・2巻 完結
手塚 治虫／著 講談社



これで古典を勉強したという東大生も!?

日本の古典文学『源氏物語』をマンガ化した作品。

父の妻である義理の母を愛したことから始まった光源氏の恋物語。その後も理想の女性を探し続け、多くの女性と恋におちる。

M

『あさきゆめみし 完全版 源氏物語』
1～10巻 完結
大和 和紀／著 講談社

サッカーブームの
火付け役!



©高橋陽一／集英社

「サッカーボールが友だち」が信条の天才サッカー少年・大空翼^{おおぞらつばさ}。小学生から中学生、そしてジュニアユースでの活躍を描く。

M

つばさ
『キャプテン翼』1～37巻 完結
高橋 陽一／著 集英社

SDGs とは？

2030 年の世界はどうなっているのでしょうか？未来は、今の私たちの行動で決まります。SDGs は、理想の未来を実現するために世界が合意した「持続可能な（sustainable）開発（development）目標（goals）」です！

その目標を達成するために、具体的に 17 個の達成目標が掲げられています。17 個それぞれに関連する本を紹介します。



SDGs をはじめよう



SDGs の 17 個の達成目標を、マンガで分かりやすく伝えています。SDGs とは何か、簡潔に知りたい人におすすめ。法律の条文を紹介したり、具体的な数値を載せていて、現状を知る足がかりに！

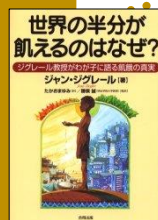
YA331 『マンガで世界を救うぞ！
SDGs マンガ化計画』
SDGs × マンガのチカラ／編
講談社エディトリアル

YA360 『どんとこい、貧困！』
湯浅 誠／著
理論社



そもそも、貧困とは何なのか？なんとなく真正面からこの問題に取り組むことを避けて、気が付かないふりをしていないですか？この本では貧困が生まれる構造的な問題を、いすとりゲームにたとえて分かりやすく解説しています。

先進諸国でフードロスが問題になる一方で、飢えに苦しむ人々は、世界の人口の約 2 割。ジグレル教授は、食糧の市場価格を維持するために大量の食糧が破棄される現実や、国連の経済制裁が引き起こす飢餓など、目を背けたくなる現実を具体的かつ詳細に語っています。



YA611 『世界の半分が飢えるのはなぜ？
ジグレル教授がわが子に語る飢餓の真実』
ジャン・ジグレル／著
たかお まゆみ／訳 合同出版



E/あ 『どーしたどーした』
天童 荒太／文
荒井 良二／絵
集英社

3 すべての人に健康と福祉を



「どーしたどーした」が口ぐせの少年。周りに遠慮なく、いつでも「どーしたどーした」と聞くために、家族も友達もあきれ気味。でも、彼の周りの人への想いが、一人の少女を救うことになります。

自分とは違う環境で生きるひとびとへのまなざしは、時に偏見に満ちています。この本では、身近な友人を通して、お互いの生き方に理解をしめしていく中学生の姿を、二人の切実な思いとともに描いています。成績優秀なのに自信がもてない主人公と、貧困にあえぎながらも希望をつかむタフな少女。そして、二人を取り巻く最低な大人と理想的な大人の姿が浮かび上がります。

自分はどんな大人になりたいか、考えさせられる一冊。



YA913 『むこう岸』
安田 夏菜／著
講談社





SDGs one by one

君たちの未来のために！



953.7

『三つ編み』

レティシア・コロンバニ／著
齋藤 可津子／訳 早川書房

インドで糞尿を掃除する不可触民スミタ、イタリアで毛髪加工会社を継ぐジュリア、カナダでシングルマザーとして奮闘するサラ。3人の女性が人生を賭けた戦いに挑むとき、それぞれの戦いが三つ編みのように絡み合い、互いを励ます力となります。

上流から下流に流れる川の仕組みを活かし、かばたと呼ばれる小屋の中で、コイを飼い、野菜を洗い、食器を洗う。自然の浄化力を上手く利用する80才を超える漁師三五郎さんの様子が、彼の生活の写真とともに紹介されています。



J66

『おじいちゃんは水のにおいがした』

今森 光彦／著 偕成社



519

『環境がわかる絵本 改訂新版』

佐伯 平二／著 長崎 訓子／イラスト
山と溪谷社

今、私たちがかかえる環境問題を、分かりやすくイラストで描いています。地球にはレモン汁の雨が降る？日本は世界第2位のゴミ産出国！など、気になるトピックごとに簡潔に説明してくれる一冊。2050年には、世界人口は97億人になると予想されているけれど、地球のエネルギーを考えると、世界人口は100億人が限界！地球のエネルギーがなくならないように、私たちはどうすればいいのでしょうか？

社会学者である著者は、「働き方＝生き方である」と考えます。自身の親しい友人でもある企業家たちの働き方を、面白エピソードを挟みながら紹介し、若者たちに既存の枠にとらわれない働き方を提案しています。



YA366

『働き方は「自分」で決める』

古市 憲寿／著 講談社



YA280

『ミライの授業』

瀧本 哲史／著 講談社

「みなさんが学んでいるものの正体、それは『魔法』です。」

そう言われたら、「えっ、魔法!？」と思いませんか？

けれど、この本にはそう書かれています。それがなぜなのか不思議に思った人、学校の授業なんてつまらないな、と思っているあなた、ぜひ手に取って読んでみてください。

今、当たり前のように使っているスマートフォンも、数十年前までは誰も知らなかった物。あなたの気づきや発見が、そんな夢のような物を作るきっかけになるかもしれませんよ。

世界で起きているさまざまな問題を、写真とデータで分かりやすく解説しています。有名人のコメントもあり、より身近に感じられるのではないのでしょうか。

「事実を知れば世界はきっと変わる」

この本の表紙をめくると、その一言が目に入ります。

知らないでいたことを、知ろうとすること。それだけで、世界を知るための第一歩に繋がります。



10 人や国の不平等をなくそう



YA367

『この世界を知るための大事な質問』

写真とデータが語るものがたり』

野澤 巨伸／著 宝島社

11 住み続けられるまちづくりを



361.98

『持続可能な地域のつくり方』

未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン
実践地方創生×SDGs』

寛 裕介／著 英治出版

本書は、SDGs の理想や、現状の問題点が分かりやすく書かれています。

例えば、気候変動と世界平和のような、まったく関係のないように思える問題が、実は繋がっていることなど。

これから SDGs について考えてみようという方におすすめです。

バブル全盛期に来日し、東京で「フェアトレードビジネス」を創業した著者の半生。

一人の女性が、環境問題、人権問題、貧困問題について考え、問題解消に向け実際に行動していく様子が書かれています。



12 つくる責任つかう責任



519

『おしゃれなエコが世界を救う』

女社長のフェアトレード奮闘記』

サフィア・ミニー／著 日経BP社

夏の気温が年々高くなり、冬には突然の大雪で交通障害が起こる。地球温暖化、異常気象って言うけれど、本当のところ、どうなの？

そんな疑問にこたえるべく、地球をとりまく状況、さらに自然災害から身を守る方法が書かれています。



YA451

『知識ゼロからの異常気象入門』

齊田 季実治／著 幻冬舎



481.7

『すばらしい海洋生物の世界』

カラム・ロバーツ／著 アレックス・マスタートード／写真
武田 正倫／監修 北川 玲／訳 創元社

色鮮やかな海の生き物たちの写真がたくさん載った一冊。ページから飛び出てくるような大迫力の写真を見ながら、海の生き物たちの様々な姿を楽しめます。

人間が、この美しい海と一緒に地球で生きていくためには、これからどうしたらいいのでしょうか？

「生物多様性」って聞くと、なんだか壮大で、自分の生活には関係ないことのように思いませんか？

この本では、クワガタムシやハチ、ダニやカエルといった、みんながきっと一度は見たことがある生き物を例に挙げて、「生物多様性」が何なのかを具体的に知ることができます。



468

『クワガタムシが語る生物多様性』

五箇 公一／著 創美社 集英社

16 平和と公正をすべての人に



369.4

『ぼくは13歳、職業兵士。』

あなたが戦争のある村で生まれたら』
鬼丸 昌也／著 小川 真吾／著 合同出版

1 分間に一人の命を奪っている小型兵器。

それを持たされている子ども兵士。「誘拐され襲撃を強要された。そして僕は、お母さんの腕を切り落とした。」この絶望的な背景の根本的な原因に私たちも関わっているとしたら……？目をそらさないで考えてみよう。未来を変えよう!!!

日本で6年間使われたランドセルが、アフガニスタンの地で子どもたちに再利用されています。

政情不安の中でも、子どもたちの笑顔からは学ぶ幸せが伝わってきます。



17 パートナースHIPで目標を達成しよう



E/そらいろ／ちしき

『7年目のランドセル』

ランドセルは海を越えて、
アフガニスタンで始まる新学期』
内堀 タケシ／写真・文 国土社

YA

新着本を 紹介します！



みづき
美月は、ごく普通の中学生の女の子。でもある日、同じ団地に住む、ひとり暮らしのはずの柴田のおじいちゃんの部屋に、小さな女の子がいることに気づきました。

「普通」であることの大切さを考えさせられる一冊です。



YA913／ヤツカ

『団地のコトリ』

八束 澄子／著 ポプラ社

サイトウさんが営む古書店「人生堂」にふと立ち寄った、中学二年の歩くん。サイトウさんにすすめられた本を読むうちに、もやもや悩んでいたことが、だんだんとスッキリしてきて……。



YA159

『未来の自分に会える古書店』

齋藤 孝／著 文藝春秋

小学校4年生で吹奏楽をはじめ、名門習志野高校吹奏楽部の部長になることを夢見る、ハルカの成長物語。

ひばくおん
「美爆音」とは、実在する千葉県習志野高校吹奏楽部の応援演奏の呼び名。爆音なのに美しい、迫力のある演奏を、本を通して感じてみてください。



YA764

『美爆音! ぼくらの青春シンフォニー』

習志野高校吹奏楽部の仲間たち』

オザワ部長／著 pon-marsh／絵
岩崎書店

主人公は、一人の少年と一人の少女。図書室の本に少女が挟んだ手紙を、少年が見つけたところから、物語が始まります。二人が生活する、人里離れた場所の「研究所」。規則正しい単調な毎日と、一日一度の服薬。二人の手紙のやり取りから見えてくる、「研究所」の真の目的とは……？



YA973／プリチ

『紙の心』

エリーザ・プリチェッリ・グエッラ／著

長野 徹／訳 岩波書店

数々の新発見をしている、恐竜学者小林快次氏の自伝です。福井県で有名な福井県で生まれた小林氏は、小学生の頃から化石掘りに夢中になっていったそう。なぜ彼が、「はやぶさの目を持つ男」と呼ばれるようになったのか。恐竜好きな方には特におすすめの一冊！



YA457

『ぼくは恐竜探検家!』

小林 快次／著 講談社

新着本コーナーは、基本的に、
毎週土曜日に入れ替わっています。
今週はどんな本が入ったか、ぜひ、
チェックしてみてね！

